令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験　専門科目
教育科学専攻　教育データサイエンスプログラム

出題の意図等

教育データサイエンスプログラムでは，学校教育や生涯学習の内容・方法，デジタル技術に関する知識・技術の獲得に必要な基礎学力を有し，教育の課題について，データサイエンスの観点から取り組む人材を求めている。受験者の多様な専門領域を鑑み，選択問題のみで科目を構成している。それぞれの選択問題における出題の意図等は，下のとおりである。
なお，本科目の問題は主として，一義的な解答が示せない記述式の問題に該当する。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため，解答又は解答例の記載は省略する。

【教科教育学】

教育の課題に関するデータに基づいた論述，デジタル技術についての論述を求める問題である。
（解答のポイント）出題された項目について，データを検証した上で論じているか，教育の課題についての問題意識を適切に表現しているか，データサイエンスの観点から主体的に解決方法や解決策について考察しているかを評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

【教育学】

教育学において統計学・社会調査を用いた分析を行う上で最低限必要な，教育学固有の専門内容や研究内容に関する知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）知識や用語の定義に加え，数理的能力，量的調査の設計力，専門領域の知識や根拠に基づいて受験者自身の主張や考えを述べているか等，多面的な観点から評価する。加えて，大学院で学ぶ際に専門分野を超えて保持していることが望ましい一般的な能力である論理的思考力，読解力，問題解決力についても評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

【心理学】

心理学研究における研究法や心理学各領域の様々な概念に関する知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）用語の定義に加え，関連する研究内容（受験者自身のこれまでの研究概要や研究計画を含む）や具体例，受験者自身の考え等が述べられているかといった多面的な観点から評価する。加えて，論述内容の論理構成やわかりやすさについても評価する。